

建築費が高騰中 良い公共施設を建てるには？

高梁市では現在、新消防庁舎、高梁認定こども園（仮称）、有漢学園（義務教育学校）という3つの大型プロジェクトが進行しています。

これまでの経過

令和5年第1回3月定例会において、大型プロジェクト事業を含む当初予算が賛成多数で可決しました。しかし、審査を所管する総務文教委員会では、大型プロジェクトについて事業費の圧縮が図られるように附帯決議を全員一致で可決しました。（高梁市議会だより第54号に掲載）

議会全員協議会で経過報告

5月23日には議会全員協議会で、3月定例会以降の大型プロジェクトの設計見直しと進捗状況が、消防本部、教育委員会から報告されました。総合的にみると3施設と

も抜本的な予算削減にはなっていない。いずれにしても当初計画されていた大型プロジェクトの建築工事費36億円が74億円に膨れ上がっているのです。原材料費・労務単価が値上がりのほかにも要因があるとはいえ、2倍に膨れ上がっています。2025年開募予定の大坂万博ではパビリオン建設の入札が思うようにできていない現状があります。「日本館」の建設工事について予定価格の応札がなく、入札が不落となつています。日本全国でこういった入札不落・不調が発生しています。現在計画されている3施設は、いずれも高梁市に必須なものではありませんが、厳しい財政状況の中でいかに将来の負担を少なくしていくか、引き続き議論していきます。

高梁認定こども園（仮称）



建設費を圧縮するために、特徴的な施設だった建物2階から築山（つぎやま）へのスロープを取りやめ、また、延べ床面積の縮小や建築資材の検討が行われました。園で使う備品については、できるだけ現在使っているものをそのまま使う方向で検討されています。

主な変更点

- ① 環境に配慮した施設とするためZEB Ready(CO₂削減50%)の省エネ水準とする。
- ② 建物2階から築山へのスロープを取りやめ。
- ③ 3歳児クラス3部屋のうち一部屋を「みんなの部屋」（特別支援の部屋）へ変更。
- ④ 延べ床面積の縮小、建築資材の変更等を行う予定。

当初(令和2年7月)の予定金額:

約18億円

現状での建築工事費(維持費):

33億2,800万円

有漢学園（義務教育学校）



議会全員協議会では、実施設計の契約金額が当初予定よりも27万5000円増の2854万5000円となることが報告されました。これは、義務教育学校の中学校部校舎として使用する現有漢中学校校舎のアスベスト調査を実施するためです。

また、保健室を1つにするなど、現場の意見を聞きながら基本設計からの変更が行われました。

主な変更点

- ① 当初、小学部・中学部にそれぞれ設置予定だった保健室を小・中で1室に変更
- ② 小学部の特別支援教室2室を広くし隣にシャワー室を設置
- ③ 図書準備室を図書室に拡張
- ④ 小学部校舎に新たに多目的教室を設置

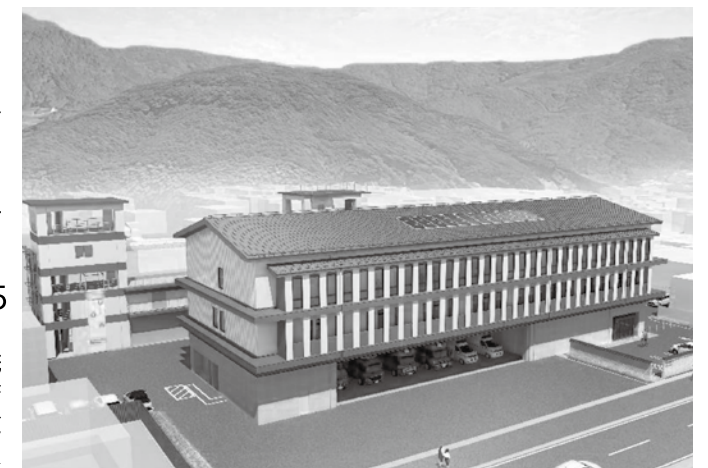
当初(令和2年11月 小学校部分)の予定金額:

約5億円

現状での建築工事費(維持費):

12億560万円

新消防庁舎



令和4年7月25日議会全員協議会で説明された工事費概算書では約16億9900万円でした。これ以後全国的な建築資材高騰によって、令和5年2月の「令和5年度予算・補足説明資料」では工事費約29億1300万円、備品購入費約1億153万円、事務費約3092万円、合計約30億9200万円となっています。

施設設計は、以下の点を含め当初の予定から見直しが行われています。

主な変更点

- ① 消防ホース洗浄スペースの拡大
- ② 来客者用駐車場を1台分減らし、視認性と安全性を確保
- ③ 各階施設レイアウトの軽微な変更
- ④ 敷地周囲全体への植栽（オタフクナンテン）を予定していたが、管理が困難との理由で正面のみに変更

当初(令和2年2月)の予定金額:

約13億円

現状での建築工事費(維持費):

29億1,300万円